

施策評価シート(平成24年度評価実施)	担当部課名	建設部 土木港湾課	関連部課名	上下水道部 下水道課
基本目標	安全で快適な魅力あるまちづくり【都市基盤・安全】			
施策名	河川・排水			
災害に強い安全な河川にするために、関係機関との連携による計画的な河川・排水施設の整備、局地的な豪雨や高潮などへの対応能力の強化を図るとともに、潤いのある水辺環境を形成するために、河川の親水性の向上や、住民との協働による河川愛護などの取組を推進します。				
施策が目指す蒲郡市の将来の姿				
<ul style="list-style-type: none"> <li>●自然環境に配慮した河川改修により、うるおいとやすらぎを感じられる水辺空間になっています。</li> <li>●豪雨や高潮災害に強いまちになっています。</li> </ul>				

### ◆具体化した施策の取り組み実績

#### 1 準用河川・普通河川の改修の推進

項目	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度計画
尺地川河川改修事業 (整備計画延長L=220m)	委託 3,308千円	0	0
硯川河川改修事業 (整備計画延長L=250m)	委託 4,620千円	0	0

#### 2 二級河川の改修の推進

項目	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度計画
西田川河川改修事業 (整備計画延長L=1,500m)	工事(凱旋橋下部) 74,043千円	工事(凱旋橋上部) 93,316千円	工事L=43m 109,000千円
落合川河川改修事業 (整備計画延長L=1,800m)	委託 2,978千円	工事L=50m 3,022千円	委託・用補 10,000千円

#### 3 親水性・自然環境に配慮した河川の整備

項目	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度計画
河川愛護活動(参加人数)	参加者 132名	参加者 440名	参加者予定 400名

#### 4 排水施設の整備・拡充

項目	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度計画
下水道事業(雨水) (事業認可区域面積A=1,396haの内 812.85ha施工済)	0	整備面積A=3.4ha	整備面積A=0.47ha
竹谷町油井20号線排水路整備事業 (整備計画延長L=48m)	工事 5,100千円	工事L=48m 8,976千円	—
江畑排水路整備事業(整備計画 延長L=494mの内18m施工済)	工事L=26m 21,399千円	工事L=28m 21,111千円	工事L=30m 31,000千円
羽栗排水路整備事業 (整備計画延長L=283m)	—	委託 10,500千円	工事・補償L=90m 80,000千円

#### 5 浸水対策の推進

項目	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度計画
高潮対策施設整備事業	—	—	工事(樋管10箇所) 3,000千円

◆評価指標

指標名	区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	将来目標
準用河川・普通河川の改修 工事延長進捗率	目標値			0	100%
	実績値	0	0		平成32年度
二級河川の改修 工事延長進捗率	目標値			2.82%	33%
	実績値	0	1.52%		平成32年度
下水道事業(雨水) 雨水施設整備率	目標値			58.50%	100%
	実績値	58.23%	58.47%		平成32年度
その他排水路整備 工事延長進捗率	目標値			29.09%	100%
	実績値	5.33%	14.55%		平成32年度

◆指標の説明・考え方

指標名	説明・考え方
工事延長進捗率	工事施工済延長÷整備計画延長×100 (%)
雨水施設整備率	雨水施設整備済面積÷事業認可区域面積×100 (%)

◆指標の分析

準用河川・普通河川については、現在、市域整備率約93%と高いため、主に維持管理業務を行っていますが、尺地川及び硯川の2河川については、緊急の対応が必要なため整備を行っていく。愛知県施工の二級河川については、計画的に工事が進捗している。排水施設の整備については、浸水箇所や排水不良箇所を中心に計画立案し整備を行っている。

◆今後の方針

施策の課題  
準用河川・普通河川の市域整備率93%については、過去の整備実績の累計を表しているが、降雨確立等の基準に照らし合わせると、河川断面の不足となる箇所が多々あると思われます。これらを解析し、いかに有効的に整備を進めていくか検討する河川整備計画の作成が必要です。また、浸水箇所等については、河川整備計画に合わせて排水路整備計画を作成する必要があります。

今後の施策展開  
現在急務となっている事業については、すみやかに事業の進捗を図る。  
また、東日本大震災や近年のゲリラ豪雨等により、基準の見直しや国の施策の動向、及び愛知県のご指導等も頂きながら、河川整備計画、排水路整備計画及び高潮対策整備計画等を作成し、緊急度の高いものから計画的に整備を行っていく。  
この計画作成に当たっては、親水性や自然環境との調和等も考慮し、河川愛護活動の促進方策も合わせて検討していきます。

課長評価	構成事業の進捗状況	B: おおむね計画どおり進行している。
	施策の進め方	B: 一部見直しが必要である。
	コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業計画にあたり人命の確保を第一とした整備計画を作成し、併せて費用対効果も事前に検討課題とする</li> <li>社会資本整備総合交付金等を利用した事業資金確保を検討する</li> </ul>

部長評価	施策の進捗状況	B: 目指す将来像実現に向けておおむね計画どおり順調に進行している。
	コメント	近年、局地的な豪雨が多く見られるようになっているため、それに対応すべく河川整備計画や排水路整備計画を検討する必要がある。また、これらの災害対策として河川の浚渫や草刈の要望が多くあるが財政状況の厳しいなか適切な維持管理ができない状況である。

施策に属する事務事業一覧

総合計画	所管課	番号	事業名	人件費を除く 事業費(千円)	人件費 (千円)	人工	総合 評価	事業の 種別	市長 コメント	実施 計画
3-7	土木港湾課	316	側溝路側整備事業	48,765	3,985	0.55	A	エ	-	×
3-7	土木港湾課	321	河川改良・維持整備事業	18,524	3,512	0.65	A	ウ	-	○
3-7	土木港湾課	322	排水路整備事業	45,422	3,241	0.45	A	エ	-	○